

兵庫県競馬実施計画

令和 8 年 8 月
兵庫県競馬組合

兵庫県競馬実施計画の策定

■ 実施計画策定の趣旨

兵庫県競馬ビジョンで定める目標を達成するため、行動計画及び数値目標を示す。

■ 実施計画の位置づけ

兵庫県競馬組合の方向性を示す最上位指針の兵庫県競馬ビジョンに基づき、健全経営のもと効率的・効果的な事業推進を図るための中長期計画とする。

■ 実施計画設定期間

令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とする。

ただし、策定後5年程度が経過した時点を目途に、必要に応じて計画内容の見直しを行う。

現状に基づく将来見込み

■ 収支見込み

現在、取り組んでいる安全安心で公正な競馬を適切かつ着実に実施していくこととし、収支見込みを試算した。

〔試算結果〕 売得金 1,406億円（R7対比 111%）
配分金 15億円（R7対比 107%）

（億円）

		R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度	R13 年度	R14 年度	R15 年度	R16 年度	R17 年度
歳入	売得金	1,267	1,260	1,281	1,296	1,312	1,327	1,343	1,359	1,376	1,390	1,406
	基金繰入金	22	15	33	48	79	34	35	38	39	34	34
	その他収入	30	26	28	29	24	29	29	30	31	27	27
	計	1,319	1,301	1,342	1,373	1,415	1,390	1,407	1,427	1,446	1,451	1,467
歳出	払戻金・法定交付金等	1,049	1,047	1,063	1,076	1,089	1,102	1,115	1,129	1,142	1,154	1,167
	経営費・施設費等	213	202	224	241	274	231	233	238	242	238	241
	基金積立金	35	32	35	37	37	37	37	37	37	37	37
	配分金	14	12	11	9	10	11	12	13	14	15	15
	その他支出	8	8	9	10	5	9	10	10	11	7	7
	計	1,319	1,301	1,342	1,373	1,415	1,390	1,407	1,427	1,446	1,451	1,467

※「中長期の経済財政に関する試算」（R8.1内閣府公表）における過去投影ケースによる名目GDP成長率・物価上昇率を加味した将来予測

✓ この収支見込みをさらに改善・向上していくための取組を進める。

基本的な姿勢（ビジョン再掲）

「世界に開かれ地域と共に発展する競馬場へ」

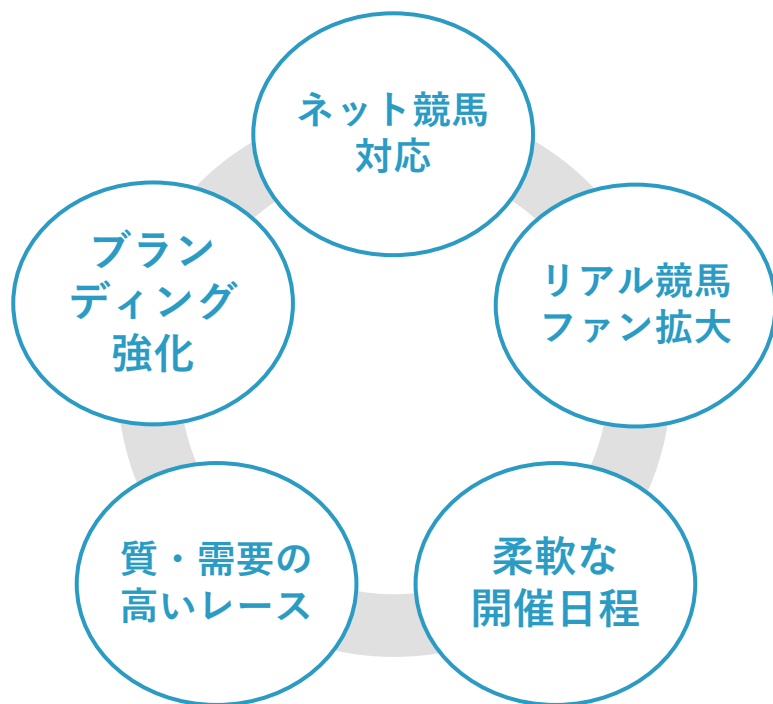
社会環境や利用者ニーズの変化を的確に捉え、
新たな発想と柔軟な取組に挑戦することで、競馬
事業の価値向上と地域社会との共生を図り、持続
可能な競馬場運営を実現する。

これからの取組の方向性（ビジョン再掲）

04

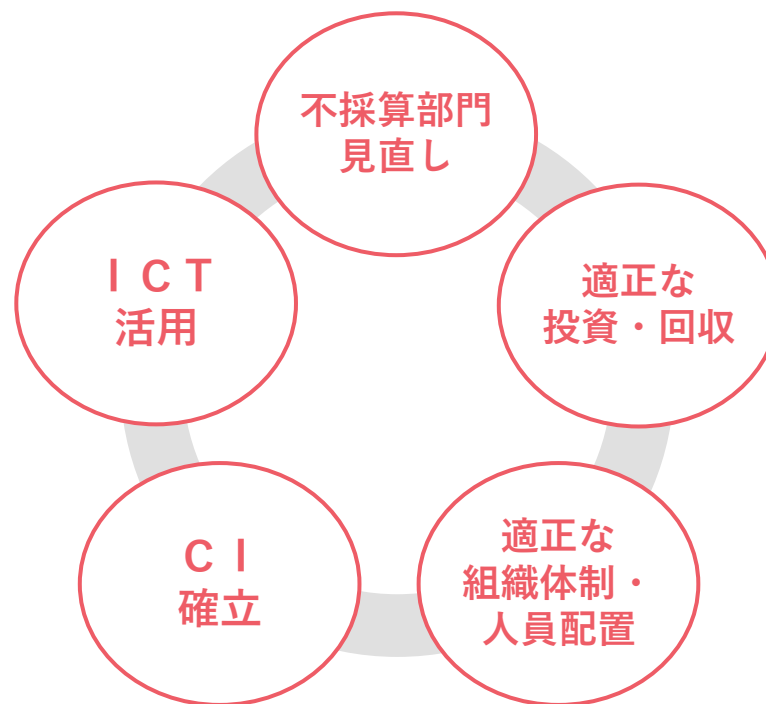
1

売得金の拡大



2

収益率の向上



※取組の推進にあたっては、徹底した数値分析、類似業種比較等を行い、国・地方行政の動向も踏まえる。

売得金の拡大に向けた取組①

➤ 国内外ネット競馬への対応

- インターネット投票の比率は年々上昇しており、今後も競馬売得金の中心的チャネルとなることが確実である。
- このことから、販売事業者（JRAネット投票、SPAT4、楽天競馬、オッズパーク等）と連携し、共同キャンペーン、特別レース企画などを積極的に展開する。
- さらに、海外向けの映像発信やIRとの連携も検討し、兵庫県競馬のさらなる飛躍を目指す。

➤ 地域に根差したリアル競馬へのファン拡大

- リアル競馬は、競馬場でしか得られない臨場感や体験価値を提供する重要なコンテンツである。
- 若年層・ライト層向けに初心者ガイド、体験型イベント、キッズ向け企画、スポーツ・音楽・アニメとのコラボイベントなどを実施し、競馬場を「気軽に行けるエンタメ拠点」として位置づける。
- さらに、観覧席の多様化や飲食・物販の充実、ICT活用による来場者の利便性向上などにより滞在満足度を高め、地域振興拠点として、地域住民や近郊都市圏などからの来場者のリピート率向上を図る。

売得金の拡大に向けた取組②

➤ レース開催日数・時刻の柔軟な運用

- ナイター開催は都市部における就業後の時間帯に適合し、ライト層の参加を促す効果が高い。
- 売得金データや他場との開催重複、交流競走の実施状況などを踏まえ、開催時刻の柔軟化を進めるとともに、季節・曜日・気候に応じた柔軟な競馬開催を検討する。

➤ グレードレース等質の高いレース・ファンニーズの高いレースの実施

- グレード競走をはじめとした重賞競走や交流競走の充実は、全国の競馬ファンの注目を集め、売得金の増加に直結する。
- このため、既存競走の魅力向上に加え、新規競走の創設を検討する。
- さらに、コース拡幅や馬場改良を進めるとともに、ハンデ設定の工夫なども検討し、多頭数で拮抗した迫力ある競走を実施する。

➤ 兵庫県競馬の特徴を活かしたブランディング強化

- 兵庫県競馬の歴史性、地域性、アクセスの良さ、ファンとの距離の近さなどの強みを活かし、ブランド戦略を展開する。
- 広報イメージの統一により、ブランディングのイメージに沿った、効率的・効果的な広報を推進するとともに、地域との連携を強化し、競馬場を地域のイベントや交流の拠点としていく。
- さらに、民間活力・手法を積極的に活用し、競馬開催の充実による売得金の拡大効果を飛躍的に高めていく。

収益率の向上に向けた取組①

➤ 不採算部門の見直し

- 収益性の低い部門や利用率の低い施設について、費用対効果を踏まえた見直しを行い、経営資源を重点分野へ集中する。
- インターネット投票の比率上昇などの事業環境の変化や、人口減少・高齢化の進展などの社会情勢の変化を受け、場外発売所の役割や運営形態についても、地域特性や利用状況を踏まえ最適化を図る。
- なお、見直しにあたっては、ストック情報とコスト情報をより明確にし、会計の見える化を推進することで、収益構造をより正確に分析することに留意する。

➤ 適正な投資と回収による設備維持管理コストの縮減

- 園田・姫路競馬場、西脇馬事公苑の各施設は老朽化が進んでおり、安全性の確保と利用者満足度の向上の観点から、計画的な改修工事を実施する。
- 老朽化対策などの施設の改修工事は短期的な費用負担を伴うが、中長期的には維持管理コストの縮減につながる。
- 計画的な投資と回収を進めることで、競馬場施設の安全性と機能性を確保しつつ、効率的な運営を実現する。

収益率の向上に向けた取組②

➤ ICT活用によるコスト削減

- ICT導入により、データ管理の高度化、業務プロセスの標準化、事務作業の効率化を進める。
- AIによるデータ分析、デジタル帳票、電子決裁などを活用し、職員の負担軽減と管理コストの削減を図る。
- さらに、トラッキングシステムや顔認証防犯カメラなどの導入の検討も進める。

➤ 適正な組織体制と人員配置

- 外部委託も含めた組織体制および人員配置の適正化を実施することで、組織運営の効率化および事務処理の高度化を図り、事務・管理コストの縮減につなげる。

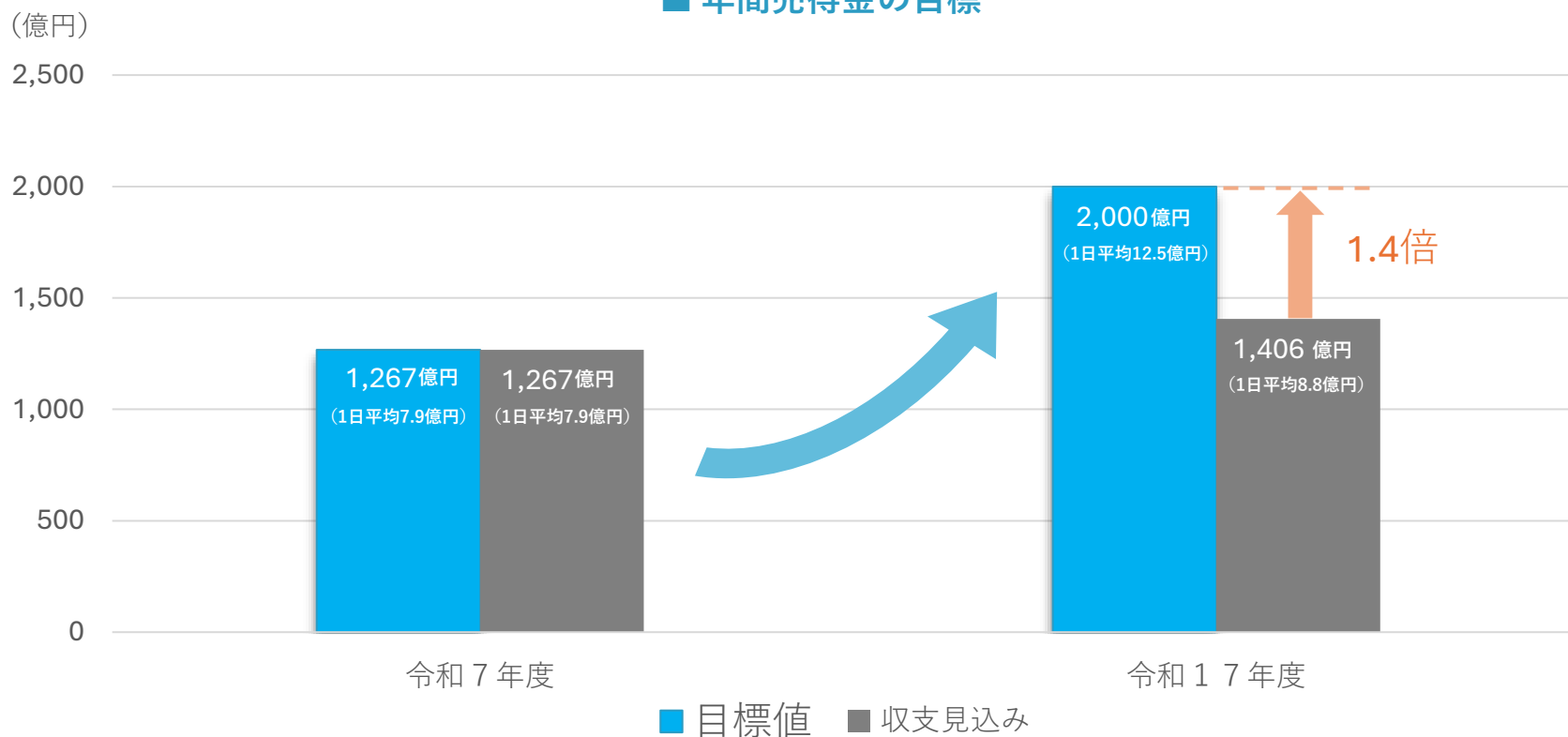
➤ コーポレート・アイデンティティ（CI）の確立

- CIの確立により組織としての理念・価値・行動基準を明確化することで、意思決定の迅速化、内部調整の効率化、職員の生産性向上を図り、事務・管理コストの縮減につなげる。
- さらに、広報物・イベント企画・デザイン制作等の標準化を進め、外部委託費の重複や個別調整コストを削減する。

業績目標（売得金）

- ✓ 本実施計画に基づく取組による業績目標を設定する。
競馬事業の根幹である売得金の拡大に向け、さらなる取組を推進することにより、令和17年度の年間売得金は収支見込の1.4倍を目指す。

■ 年間売得金の目標



業績目標（配分金）

- ✓ 売得金の拡大と並行して費用構造の最適化を進め、収益率を向上することにより、令和17年度の年間配分金は収支見込の3.7倍を目指す。

